

Living Grammar for Communication

コミュニケーションのための
基礎英文法

船田秀佳

Shukei Funada

英文校閲

Christine Lundell

EIHŌSHA

はじめに

英語を読んだり、書いたりするときはもちろん、聞いたり、話したりするときにも、基礎的な英文法が身につけていて、それを使いこなせる力が必要です。

例えば、I gotta study this evening. という英文を聞いて瞬時に理解したり、また自らもこの英文をすんなりと発信できるには、次のような文法的知識が不可欠です。

「～しなければならない」という意味を表す have to～とほぼ同じ意味で、have got to～が使われる。くだけた言い方では have が脱落し、got と to は連結して gotta となる。gotta の [t] は有声化し、日本語の「ラ」のような響きになる。gotta～は「～しなきゃ」という意味になる。

このような文法的知識を身につけ、場数にあっていれば、聞き取りや会話に困ることはないでしょう。

外国語として英語を学ぶときには、短期間にその構造を全体的に知る必要があります。そして、そうするためには英文法を学ぶことが欠かせません。

教科書の使い方としては、まず、各 Unit の文法及び音変化についての解説をじっくり読んでください。そのうえで例文を目で見るだけでなく、声に出して口と耳から脳に染み込ませるようにしてください。日本語訳を見たら、頭の中で音が再生されるようになるまで繰り返すことが大切です。その後、練習問題に取りかかってください。

練習問題は、英文和訳、書き換え、並べ替え、語形変化、ディクテーションとバラエティーに富んだ形式になっています。1つの文法事項をいろいろなアングルから見ることによって、着実に基礎固めを行うことができます。

英文はやさしいものばかりですが、同じ内容を、書く、話す、聞いて理解するとなると、難しいと感じるかも知れません。

しかし、口と耳を使って何度も繰り返し訓練を重ねていくと、英文をインプットし、アウトプットするコツが身につけていき、英文を覚えるとは音を覚えることであると実感できることでしょう。

最後に本書の出版をご快諾いただいた英宝社編集部のみなさん、とりわけ、下村幸一さんには、企画の段階から貴重なアドバイスをいただき、大変お世話になりました。ここに心からの感謝の意を表したいと思います。

2023年1月

船田 秀佳

Contents

» Unit 1	現在形(1) be 動詞	～現在における事物の同一性、性質、存在～ 2
» Unit 2	現在形(2) 一般動詞	～現在における状態、行為～ 8
» Unit 3	過去形	～過去における状態、行為～ 14
» Unit 4	疑問詞	～WH 疑問文による質問～ 20
» Unit 5	未来形	～未来における状態、行為～ 26
» Unit 6	完了形	～現在から過去・未来における状態、行為～ 32
» Unit 7	助動詞	～状態、行為に添える話者の気持ち～ 38
» Unit 8	冠詞・名詞	～物の数え方と捉え方～ 44
» Unit 9	受動態・命令文	～態の選択、行為の要求～ 50
» Unit 10	不定詞・動名詞	～to + 動詞、動詞 + ing～ 56
» Unit 11	Here・There 構文	～事物の出現、存在～ 62
» Unit 12	It 表現	～「それ」以外のさまざまな it の用法～ 68
» Unit 13	前置詞	～時間、空間、場所の示し方～ 74
» Unit 14	接続詞	～語句、文の繋ぎ方～ 80
» Unit 15	関係詞・仮定法	～情報の後置追加、仮定化～ 86

Unit 1

現在形 (1) be 動詞

★ be 動詞の現在形によって、今現在の一時点においてだけではなく、過去、未来にわたる人や物の同一性、属性、状態、存在が表される。

1 be 動詞の種類と語形

be 動詞は主語の人称と数によって次のように決まる。() は短縮形。

人称	単数	複数
1 人称	I am (I'm)	we are (we're)
2 人称	you are (you're)	you are (you're)
3 人称	he is (he's) she is (she's) it is (it's)	they are (they're)

☞ 短縮形は音も縮む。

I'm アイム we're ウェ you're ユア he's ヒーズ she's シーズ
it's イッツ they're ゼイア

☞ 短縮形 + a は音の連結が起きる。

I'm a アイマ you're a ユアラ he's a ヒーザ she's a シーザ it's a イッツァ

☞ 短縮形 + an も音の連結が起き、後ろに母音で始まる語が続くときは、次のように an の [n] と母音が連結する。

1. I'm an attorney. アイマナトーニー (私は弁護士です)
2. He's an eye doctor. ヒーザナイドクター (彼は眼科医です)
3. That's an apple. ザッツァナプ (あれはリンゴです)

2 be 動詞の用法

[肯定文]

① 主語 + be + 名詞：主語の同一性

1. I'm Ted Williams. (私はテッド・ウィリアムズです)
2. You're a wonderful person. (あなたって素敵よ)
3. She's a fashion designer. (彼女はファッションデザイナーです)
4. We're college students. (私たちは大学生です)
5. It's a great plan. (それは素晴らしい計画です)
6. They're lemon pies. (それらはレモンパイです)

② 主語 + be + 形容詞：主語の属性・状態

1. I'm tired and sleepy. (私は疲れていて眠たいです)
2. He's honest and trustworthy. (彼は正直で信頼できます)

3. The internet is down. (インターネットはダウンしています)
4. The US economy is up. (アメリカ経済は上向いています)
5. These problems are easy. (これらの問題はやさしいです)

③ 主語 + be + 場所を表す語句：主語の存在場所

1. He 's in San Jose now. (彼は今サンノゼにいます)
2. The map is on the wall. (地図は壁にかかっています)
3. Toyama is to the north of Aichi. (富山は愛知の北にあります)

[否定文]：主語 + not + 名詞 [形容詞] [場所を示す語句]

1. I 'm not a nurse. (私は看護師ではありません)
2. He is not (isn't) in the classroom. (彼は教室にいません)
3. It is not (isn't) a good idea. (それはいい考えではありません)
4. We are not (aren't) engineers. (私たちはエンジニアではありません)

☞ 短縮形は、is not ⇒ isn't, are not ⇒ aren't [n't]は舌先を上の歯茎にあてたまま[ント]と鼻から息を抜くように発音され、[t]は脱落したり、後ろに続く語と連結して発音される。

[疑問文]：be + 主語 + 名詞 [形容詞] [場所を示す語句] + ?

1. Are you an English major? (あなたは英語専攻ですか)
 - Yes, I am. (はい、そうです)
 - No, I 'm not. (いいえ、違います)
2. Is he a bank clerk? (彼は銀行員ですか)
 - Yes, he is. (はい、そうです)
 - No, he isn't. (いいえ、違います)
3. Is that your car? (あれはあなたの車ですか)
 - Yes, it is. (はい、そうです)
 - No, it isn't. (いいえ、違います)
4. Are these your English textbooks? (これらはあなたの英語の教科書ですか)
 - Yes, they are. (はい、そうです)
 - No, they aren't. (いいえ、違います)

☞ 文末の not, isn't, aren't の [t] は脱落することがある。

PRACTICE

A 次の英文を日本語に訳しなさい。

1. It's almost midnight. Are you still up?

2. I'm Lisa. This is my sister Kate.

3. The fog isn't dense in London today.

4. I'm a freshman in college and he's a sophomore.

5. Is the toy department on the third floor?

B 日本文の意味になるように空所を補充しなさい。

1. 彼は大学院生です。

He () a graduate student.

2. ジャックと私は仲のいい友達です。

Jack and I () good friends.

3. それは難しい本ですか。

() it a difficult book?

4. 私は喉が渴いています。あなたは？

() thirsty. () you?

5. とりあえずこれで大丈夫ですよ。

This () okay for now.

C 日本文の意味になるように括弧内の語を並べ換えなさい。

1. あなたはボストン大学の学生ですか。
(a / you / Are / student) at Boston University ?
-

2. 彼女は私の友達です。
She (of / is / friend / a) mine.
-

3. 猫はテーブルの下にいません。
(not / is / cat / The) under the table.
-

4. あなたのブリーフケースは黒ですか青ですか。
(black / Is / briefcase / your) or blue?
-

5. それは時間とお金の無駄です。
(of / That's / waste / a) time and money.
-

D 指示に従って英文を書き換えなさい。

1. He's a photographer. (主語を you にして疑問文に)
-

2. These are MP3 players. (否定文に)
-

3. I'm busy this week. (否定文に)
-

4. Brian and Christy are junior high school students. (下線部を代名詞に)
-

5. David and I are classmates. (下線部を代名詞に)
-

E 英文を聞き空所を補充しなさい。



1. あなたは朝型ですか、それとも夜型ですか。
() () a morning person or an evening person?
2. 彼女はフロリダの出身です。フロリダはグレープフルーツで有名です。
() from Florida. () famous for its grapefruits.
3. 私はまだ 20 歳になっていません。
() () twenty yet.
4. マドリードは物価が高いですか。
() prices () in Madrid?
5. 彼らはバスケットボール部の部員ではありません。
() () members of the basketball club.

F 英文を書き取りなさい。



1. 彼は好奇心旺盛です。

2. あなたは楽観的ですか、それとも悲観的ですか。

3. ここは東京駅の北口です。

4. 彼女は英語と中国語が流暢です。

5. 美帆です。日本から来た留学生です。

6. 私はインスタグラムの初心者です。

7. 英語 235 は必修クラスではありません。

8. ローストビーフは私の大好物です。

9. あちらがマイケルです。本当に面白い人ですよ。

10. 彼女は料理がうまくてよかったですね。
